

関東甲信越土を考える会 オンライン新年会を行いました!

2022年2月8日

2021年も残念ながら、新型コロナウイルスの影響で集まって語らう場を作れないまま、年を越すことになってしまいました。

秋以降は集会形式の会合の開催を望む声が会員からも聞こえて来るようになり、会員間では農場を訪問したり、有志で集まったりするなど交流の場が少し復活した兆しが見られました。しかし、忘年会・新年会シーズンでの飲食を伴う集会は難しい情勢に……。

そこで、役員会で「オンライン新年会」を企画し、開催いたしましたのでご報告いたします。

オンライン新年会《2022年1月21日》

1月21日に開催したオンライン新年会では、今回は、昨今話題になっている“5年に一度の水張り”問題に切り込むことに……。

ずばり、テーマは「**これからの水田転作、どうなる？ どうする？**」としました。

関東農政局の担当部署より、水田活用の直接交付金の変更点とその経緯について情報提供いただいたうえで、質疑応答、ディスカッションを行いました。

農政に関わる内容では厳しい表情だった参加者も、会員同士の情報交換の場では興味津々な様子に!

約25名の会員、関東農政局より4名と事務局が参加し、にぎやかな会となりました。

今回は、前半の勉強会、後半のディスカッション、延長戦のフリートークという具合に区切って進行していましたが、最後は23時まで実に最長6時間にわたって情報交換の場が繰り広げられました。

オンラインで外部から情報提供者を招いての開催は初めてでしたが、昨年は顔合わせの意味合いが強かったところから、会を重ねるごとに双方向でのコミュニケーションを図れるようになってきました。

直前まで作業ができ、移動時間なく参加できるというメリットを実感されている方も増えてきたようです。

2月の総会・研修会については集会や大規模な実演の開催は難しいと考えています。役員一同、引き続き社会情勢に合わせて、オンラインも駆使しつつ有意義な活動を探っていきたくと考えております。

